

令和7年度 学校だより冬休み前号



学校教育目標

やさしく思いやりのある子
よく考えて進んで学ぶ子
ねばり強く元気な子
明るくあいさつができる子

とくりき

発行日 令和7年12月24日

さいたま市立徳力小学校

TEL 048-794-2318

在籍児童数 12月24日現在164名

合言葉 「すべては 子ども達のために」

『確かな成長』にするために成長実感を

教頭 平野 英雄

明日より冬休みが始まります。2学期は80日間ありました。学校行事も多く、内容盛り沢山のこの期間に、素直で可愛い徳力の子どもたちの、何事にも一生懸命取り組む姿、時には壁にぶつかりながらも乗り越える姿、そして最後までやりぬく姿などを見ました。当然、個人差はありますが、一歩ずつ、着々と成長しているのを感じます。…では、子どもたちは、自分が成長していることを実感しているのでしょうか。「成長？」を『確かな成長』にしていくためには…という事をよく考えます。成長実感をチームトクリキと一緒に考えていきたいです。

成長をとらえるキッカケ探し

通知表「とくりき」が2期制となったため、学期末、通知表は持ち帰りません。しかし、学期末は成長実感を高められるよい機会であると思います。学習や生活をどう取り組んできたかを記す貴重な学びの履歴は、ドリルやノート、また会得した技など様々な形で表れています。是非ご家庭においては、テスト等の「結果」だけを取り上げる事なく、学んできた「過程」を大事にして、子どもたちの成長を認め、褒めるキッカケを色々なところでお探しいただき、またお子さんと共有していただけたら幸いです。

何を、どのように褒めるか

VOUCA【ブーカ】（先行き不透明で将来の予測が困難な）時代となっている昨今、エージェンシー（よりよい未来の創造に向けた変革を呼び起こす力）を確立することが大事であると言われます。持続可能な社会の創り手の原動力となると言われるエージェンシーの確立のために必要なのは、やはり「褒め」なのではないかと強く感じます。……では、何をどのように褒めましょう。大事なのは、皆様の確固たる褒め論があることであると思います。褒めの手法は千差万別であるとは思いますが、自身が得た糧になったと思える褒めは「具体的な言動・行動の褒め」であり「結果（も一部はありますが）でなく過程の褒め」であり「端的で大げさな褒め」であります。人によって最良な褒めは異なると思います。大切なことは行った褒めが成長実感を得られる褒めになっているのかとお考えいただくことかなと思います。皆様の褒め論もお伺いし、個々の子ども達に最良な褒め方をすり合わせていきたいです。

一年の計は元旦にあり

幼少の頃より、祖母から、この言葉を幾度となく言われてきました。今時分になって心に染み入る言葉になっています。やはり、計画・見通し、そして初めが肝心であると思っております。自分が今、何ができ、何ができていないか。今後何をして、何を伸ばし、何に気をつけていけばいいのか。分かることでより成長実感を得られるのではないのでしょうか。エージェンシー確立のために、「一年の計は元旦にあり」と言われるのかも知れませんね。ご家庭においては子ども主体で、何をどのように頑張ろうと話を進めてくだされば幸いです。

つまり、チームトクリキみんなで

令和7年、年の瀬です。皆様はどのような1年であつたでしょうか。チームトクリキ3年目の私は幾度となくチームの大切さ・ありがたみを実感いたしました。本校合言葉「すべては 子ども達のために」実現のために、学校もますます『確かに成長』して参りたいと存じます。チームで成長実感を得たいです。保護者・地域の皆様におかれましては、2学期間、様々な場面で本校の教育活動へご理解ご協力をいただき、誠に感謝申し上げます。また3学期も変わらぬお力添えをいただきますようお願い申し上げます。どうぞ、よいお年をお迎えください。

冬休みの過ごし方

終業式後の講話において、安心・安全な冬休みを過ごすために気を付けることを、子どもたちと約束しました。以下の内容はその具体的な内容です。学校とご家庭と同じ「合言葉」であると、より子どもたちの意識が高まりますので、ご活用ください。



冬休みは「もちつき」!それを「やく」よ!




もっと! 勉強!



ちゃんと! 笑顔であいさつ!



つづけよう!!



きはやね! はやおき!

繰り返し思い出して、有意義な冬休みにしていきましょう!!

こんなことはしない「やく」そくです!

火遊び



金品・物品の貸し借り



インターネット・SNS 等でのトラブルにも注意です。メディアのやくそくはお家の人とします。もしもの時は、子どもだけで何とかしようとせずに、必ず大人に相談をしてください。

保護者（信頼できる大人）の方へ

アイリスホットラインは、性暴力被害に遭われた方をサポートします。

- 性暴力・性犯罪被害に関する相談の約1割が、幼い子どもたち（年少者）が被害に遭ったものです
- 被害に遭われた方は、女性だけではなく、男性も被害に遭われています
- 他人から、無理やり、体を触られたり、見られたり、触らせられたりなど、お子様が「嫌だな、変だな」と感じる出来事があったら、すぐに教えてもらえるよう伝えてください
- 性暴力等被害専用の相談電話「アイリスホットライン」まで、ご相談ください

性暴力に遭った……あなたは悪くありません
ひとりでは、気持ちを話してあげてください

性暴力被害相談電話
(アイリスホットライン)

性暴力は、心も身体も傷つけ、被害者の尊厳を傷つけ、被害者にも大きな人権侵害です

0120-31-8341
048-839-8341
#8891

24時間
365日
無料

※相談内容は厳重に守られます

問合せ・協賛機関：文通社（代表）048-710-5036

相談無料

Web（メール）相談

オンライン
(Zoom) 相談



エコライフ
DAY & WEEK
SAITAMA



冬休みエコライフに取り組まれていますか!

【学校からのお知らせ】

以下の内容は冬休みの過ごし方で記載される内容ですが、改めて地域保護者の皆さまにお知らせします。

☆交通事故、犯罪、火災などの被害にあわないように注意

①交通事故に気を付けましょう。

※ 特に飛び出しはしません。見通しの悪い場所はいったん

※ 止まります。信号が青でも左右をよく確認します。

※ 車両の間をすり抜けて道路を横断しません。

②自転車に乗る時は、交通ルールを守って乗るようにしましょう。

※ ヘルメットを着用しましょう

[自転車も乗れば車のなかまいりチラシ](#)

③遊ぶときには安全な場所できまりを守って遊びましょう。

④出かけるときには防犯ブザー（ホイッスル）を持ち、「だれと」「どこへ」「いつごろ帰る」を伝えてから外出するようにしましょう。

帰る時刻については日も長くなっているので、遅くならないように注意し、「お帰り音楽の放送」までには家に帰りましょう。

（防犯ブザーの故障や電池切れの場合は新しいものを準備しましょう）

⑤必要のないお金を持ち歩かないようにし、友だち同士のお金の貸し借りもしてはいけません。また、カードやゲームなどをお互いに売り買いすることもしてはいけません。

⑥知らない人について行かない、車に乗らない、夜道の一人歩きをしない、不審者に追われた場合は大きな声で助けを呼ぶようにしましょう。また、すぐに110番通報をしてください。

⑦ローラースケート、ローラブレード、キックボードなどの遊びは危険な場所を避け、安全に気を付けましょう。

⑧危険性を考慮し、エアガンでは遊ばないようにしましょう。

⑨インターネットや携帯メールなどの利用については、不適切な利用が犯罪に結びつく危険性を理解し、十分注意しましょう。

⑩川などの危険な場所では、遊ばないようにしましょう。

⑪子どもだけで遠くまで出かけたり、ゲームセンターやスーパーマーケット、デパートなどに行ったりしないように約束しましょう。

⑫火遊びはしません。花火等は水を入れたバケツを用意し、大人の人と安全にしましょう。

【カチッとプロジェクトについて】[ホームページはこちら](#)

本年度、カチッとプロジェクト参加校に応募しました。

努めて自転車に乗る際はヘルメットを着用するようにしましょう。

本プロジェクト参加校になると、参加特典として

「自転車用ヘルメット購入割引」が適応されます。

詳しくは上記リンクまたは二次元コードを読み取りいただき、協賛事業所へお問い合わせください。





かぶる・ひろがる・命を守る

カチッと!!

PROJECT
プロジェクト

概要

令和5年4月、すべての自転車利用者に対する乗車用ヘルメットの着用が努力義務となりました。

しかし、自転車の世帯保有台数が全国トップクラスの埼玉県において、自転車ヘルメット着用率は低迷しており、自転車事故死者数も全国ワースト上位となっております。

そこで、統一行動として自転車ヘルメットを着用する団体(グループ、サークルなど)を募集することにより、交通事故時の被害を軽減するとともに、地域における自転車ヘルメットの普及と定着に貢献していただく取組みです。

参加条件

1. 自転車を利用する者が所属し、埼玉県内で活動している団体(グループ、サークルなど)であること。
2. 統一行動として自転車乗車時はヘルメットを着用すること。(※団体の活動中以外も含む。)
※その他、承諾(同意)していただく事項があります。

申請方法

1. 電子申請
2. 「参加(賛同)申込書」に必要事項を記入し、下記お問合せ先又は最寄りの警察署(交通総務係)に提出して下さい。



電子申請
二次元コード

お問合せ先

〒330-8533 さいたま市浦和区高砂3丁目15-1
埼玉県警察本部交通部交通総務課(安全対策第二係)
☎048-832-0110(内線5056)



埼玉県警察マスコット「ボッポくん」